

第5回狛江市下水道総合計画策定庁内検討委員会

- 日 時 平成 21 年 10 月 22 日 (木) AM10:00～ 11:30
- 場 所 高架下 102 会議室
- 委 員 石原委員長 (上下水道課長)、山田副委員長 (都市整備課長)、高橋委員 (財政課長)、斎藤委員 (環境管理課長)、松本委員 (安心安全課長)
- 議 題 (1) 策定経緯等について
(2) パブリックコメント及び素案について
(3) その他
- 資 料 (1) 議事次第
(2) 狛江市下水道総合計画策定庁内検討委員会スケジュール (案)
(3) 狛江市下水道総合計画委員会及び再評価委員会日程表 (案)
(4) 狛江市下水道総合計画 (素案)
(5) 狛江市下水道総合計画 (素案・資料編)
(6) 広報こまえ 平成 21 年 10 月 1 日号
(7) パブリックコメント 原本 (2 名分)
(8) 狛江市下水道総合計画パブリックコメント意見に対する回答 (案)
(9) 狛江市公共下水道事業再評価 費用効果分析検討資料 一式

委員長による開会のあいさつに続き、議事が進行された。

議題 (1) 策定経緯等について

事務局より、今後の庁内検討委員会と狛江市下水道総合計画策定及び再評価委員会 (以下、下水道委員会) におけるこれまでの経緯と今後の予定について説明があり、概ね了承された。

議題 (2) パブリックコメント及び素案について

事務局より、まず素案の主な修正点について説明があり、続いて、広報こまえと市HP等から素案の内容を公表した結果、寄せられたパブリックコメント 2 名分について紹介があった。さらに、寄せられたパブリックコメントに対する回答案を提示し、その内容と対応について意見を求めた。

以上に対する主な意見および質疑応答は、次のとおりである。

委員：パブリックコメントのひとつは、下水道総合計画に関する意見ではない。

事務局：一般会計の話については削除する。

委員：もうひとつのパブリックコメントに対しては、素案の中で、ソフト対策の施策のあり方に項目を追加したということなのか。

事務局：指摘のとおり、広報活動と啓発活動について追記している。

委員：ソフト対策については段階的整備計画には記述しないのか。できれば施策として表記した方が良い。

事務局：段階的整備計画の事業としては記述しにくいですが、市民との協働施策としての記述を検討する。

委員：広報活動や啓発活動としては、具体的にどのようなものが考えられるか。

事務局：環境週間での出展、広報やHPでのPR等が考えられる。

委員：今回参考として追加した財政シミュレーションのグラフには、説明文も追加した方が良い。

事務局：そのとおり説明文を追加する。

委員：財政黒字分を翌年度以降に繰り入れし、起債充当率を減少させる場合も考慮しておいた方が良い。

委員：長期的には黒字額が次第に減少する傾向にある。グラフからは、平成 51 年度以降、赤字が増額するように見える。

事務局：平成 51 年度以降は、一時的に赤字となるが、事業債が減少することから、その後は再び黒字傾向に転ずると考えられる。現段階では、30 年後にほぼ収支 0 となる計画を策定している。

議題 (3) その他

事務局より、別途検討している事業再評価について情報提供があった。

さらに、10 月 28 日に行う下水道委員会の後、必要に応じて 11 月中旬に庁内検討委員会を行う場合があることが連絡された。

以上